

市長発言要旨

福井駅西口中央地区市街地再開発事業について

福井駅西口中央地区市街地再開発事業につきましては、昨年 11 月に NHK 側から「マンションと隣接する現行のプランでは参画が困難」との回答を受け、新たな事業者の参画の可能性や事業採算性の確保といった事業の再構築を進めるとともに、福井駅周辺に必要とされる機能について、賑わい創出の一助となるような施設の洗い出しや、総合的な交通結節地点として必要な環境整備のあり方等々について検討を重ねてまいりました。

また、新たな議員をお迎えしてスタートした先の 6 月定例会におきましては、議員各位に対し、今までの経緯をご説明するとともに、新たなご意見やご提案をお聞かせいただいたところです。

一方、県におきましては、「再開発事業が今後確実に実現できるよう、NHK の誘致問題をはじめ、事業の採算性、事業パートナーの見通しなどの問題を福井市がスピード感と責任を持って事業全体を調整する必要があるが、この事業は駅前活性化のために重要な事業であるとの認識のもと、応援する気持ちに変わりはない。」とのコメントもいただいております。

ります。

このような中、7月14日に開催された地権者で組織する準備組合の総会において、NHKの入居を前提とした従来案の分棟型のビル建設から、NHKの誘致を断念した新しい案である広場を取り入れた一棟型ビルの建設案が組合側から示されたところでございます。

本市といたしましては、県をはじめ関係する方々との協議や、議員の皆様などからのご意見・ご提案、さらにはこれまでの再開発事業の検討経緯や社会情勢の変化等を踏まえる中で、西口駅前広場の早期整備を図ること、過度に床をつくらない『身の丈再開発』へシフトすることを基本として再構築を進めてまいりました。

まず、状況の変化としましては、NHKと県施設の入居を前提とした分棟型ではなく、マンション建設を前提として一棟型のビルといたします。

したがいまして、NHKの誘致につきましては正式に断念するというところでございます。

また、県に関しましては、相乗効果が見込めるNHKの入居が前提での施設設置であり、NHKが入居しない場合、県施設は白紙になるとの姿勢であることから、改めて県の支援をお願いする必要があると存じます。

次に、今回、市として取りまとめました新たな案の基本的な考え方でございますが、先に述べた状況の変化を踏まえ、次の3つの点に留意したものとなっております。

まず1点目は、賑わいや交流の場として、イベント等が開催できる広場を整備し、西口駅前広場と一体となった空間づくりを進めることで福井らしさを感じられる玄関口を形成することです。

2点目としましては、駅前という地理的条件を最大限に活かしながら、県都の顔づくりに寄与する機能について、今回の東日本大震災を踏まえ、市有施設の再構築という課題もあわせて解決していこうということです。

3点目は、交通結節機能の強化を図り、東西の駅前広場と合わせ、全域交通ネットワークの拠点とすることです。

この再開発事業は、先の6月定例会でも申し上げましたように、中心市街地活性化を図る上で非常に重要なものであり、二巡目の福井国体までには駅前広場の整備とともに確実に完了させねばならない事業でございますので、何としても今年中に方向性を見い出すべく検討を重ねてまいりました。

今日に至るまでに長い期間を要したことで、議員各位にはご心配をおかけし大変申し訳なく思っているところですが、市として新たな案につまきて、この後の一般質問や予算特別委員会でのご質問等を通じて、ご審議いただきたいと存じます。